

# テストを生かして 子どもたちの学習意欲の喚起を！

鳥取県教諭 清水 孝

## はじめに

昨年、「学校に対して学力の向上を期待していない。」という衝撃的なアンケート結果が発表されました。皆さんは、いかが感じられたでしょうか。生徒指導上の個別の問題も複雑化し、多忙を極める毎日。そうした中であつても、次の社会を支える子どもたちにつきかりとした学力をつけていくということは、私たち教師にとっての最重要課題です。

そもそも「学力」を私たちはいかにとらえるべきでしょうか。今の社会の中で「生きる力」こそ学力だと努力されている方も多いことと思います。これは、「目に見えない学力」などとも言われ、「ペーパーテストでは何もわからない。」「テストでは学力は測れない。」「テストは批判の対象にされることもしばしばあります。そうした中では、テストの分析といったものは、なおざりにされがちです。確かに、テストだけで全てを測ることは無理です。

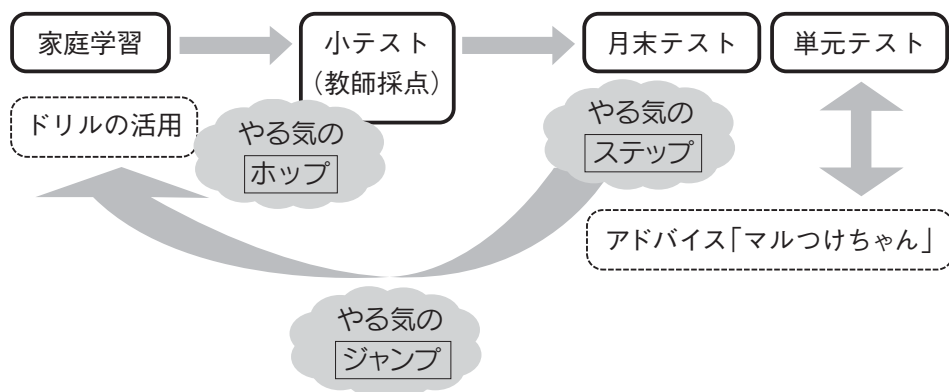
しかし、子どもたちの「学習理解」や「やる気」を高めることやテストで測っているような学力も身につけさせることは、基盤となる大切な部分を占めています。「生きる力」であれ「目に見えない学力」であれ、まずはこの基礎的な力の上に成り立つのではないのでしょうか。

例えば、「かけ算（アルゴリズムだけでも）はできないけど、算数で考えることが好きだ。」という子が何人いるでしょう。「漢字が

書けなかったり読めなかったりするけど、小説を読むのは好きだ。」という子はどのように。全くいないとは言いませんが、小学校では特に、「かけ算や漢字」といった基礎ができていてこそ、様々な力を伸ばしていけると思うのです。

そこで私は、基礎的な学力向上のために、次のようなサイクルを考えて取り組んでいます。

## 「やる気」のサイクルでパワーアップ



## 「やる気」のサイクルとは

では、「やる気」のサイクル」について具体的に述べていくことにしましょう。

### やる気」のホップ段階

(ドリル問題で家庭学習、小テストとたしかめ)

多くの先生方は、ドリルというものを教材として購入されていると思いますが、私の場合漢字ドリルと計算ドリルを毎日の家庭学習として1ページずつ取り組まれています。漢字の活用練習になっている部分は、150字程度となり、漢字の150字ノートが最適です。計算ドリルは、今、学習しているページを指定して取り組ませます。(基本的に、土、日曜日も)

そして、毎日取り組んだ内容について、20問で100点満点のテストを行います。テストをすることによって、家庭学習の意欲も子どもたちなりに出てきて、単に「写すだけ」ではなく、「覚えよう」「わかって」という気持ちが生まれます。漢字はドリルの太字のみの出題（つまり覚える字は20の部分で、出題も20問）となるので、がんばれば100点がとれそう、挑戦しがいがあるようです。テストの実施は、2回。記憶の忘却曲線のことを考えて、1回目の実施後、2回目は1週間後にやることにしています。これで、かなり長い間記憶に残っていくと考えられます。

採点はもちろん、全て教師です。子どもたちの実態を把握でき、学習展開時の参考にも

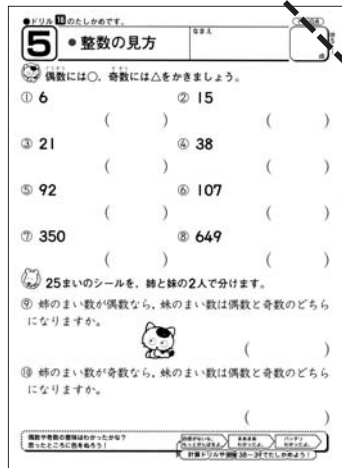
# 効果倍増!

わたしの教材活用術

日々の授業で使う教材や教具。隣のクラスや隣の学校のあの先生は、一体どんな使い方をしているのでしょうか？  
このコーナーでは、気になる教材活用術を紹介します。

毎日の家庭学習と取り組んだドリルテストの達成度を確認するために必要なのが、月末テストです。月末テストは、最近の自分の

**やる気のステップ段階**  
(月末テストで一ヶ月の取り組みを振り返る)



▲計算の力だめし (新学社)

ここを切る。

なりません。問題数も20問と多くはないので、漢字では「とめ」「はらい」「はね」など、細かな部分にも注意が行き届きます。  
ドリルを購入すると、「ドリルのたしかめ」などといったものが安価で付いている場合があります。これを毎日昼の掃除後に設定されている「ドリルタイム」(10分程度)などにやらせています。これも採点は教師です。そのページが完全に合っていれば、ドリルのページの端をカットし、どの程度進んでいるのか、どの点を間違えたのかを把握しやすくしています。

テスト結果については、テストを返す以外に、個別学習記録表を渡すことにしています。この個別学習記録表を子どもたちに返すと、大変な反応があります。毎日、日記指導

**やる気のジャンプ段階**  
(個別学習記録表を生かした評価の還元)

単元テストは、新学社のものを4教科(国語、算数、理科、社会)採用しています。テスト後に、答え合わせや直しをしていくことはもちろんですが、その結果について、何らかのコメントがあればより有難いものです。その点、新学社のものは、成績処理ソフト「マルつけちゃん」が付いていて大変便利です。これは、子どもたちにとっても楽しみなものようです。

**【国語】**  
漢字8割(全てドリルから出し、書字のみで、読字は行わない)、言葉に関して2割(学習中にあつかったものを出す)。  
**【算数】**  
全てドリルの内容(計算や知識を問うもの、文章題などドリルのままを出題します)。

がんばりを評価するのに有効です。ドリルの内容を生かすため、ここではどうしても手作りとなってしまいます。  
出題内容はおおむね次のようなものです。

夏休み前のミニ通知表

国語		社会	
レーダーチャート	新進度% 期待点	レーダーチャート	新進度% 期待点
	95 80 80 80 80		60 60 60 60 60
学期平均	84 80	学期平均	60 60
算数		理科	
レーダーチャート	新進度% 期待点	レーダーチャート	新進度% 期待点
	100 100 100		40 40 40
学期平均	75 60	学期平均	30 60

▲個別学習記録表 (マルつけちゃんHYPER 新学社)

夏休み前のミニ通知表

国語		算数	
レーダーチャート	新進度% 期待点	レーダーチャート	新進度% 期待点
	95 80 80 80 80		100 100 100
学期平均	84 80	学期平均	75 60
社会		理科	
レーダーチャート	新進度% 期待点	レーダーチャート	新進度% 期待点
	60 60 60 60 60		40 40 40
学期平均	60 60	学期平均	30 60

を行ってありますが、その時の倍以上の反応といったところでしょうか。みんな真剣にその結果に見入っております。  
子どもたちにとって、個別学習記録表とはどんなものでしょうか。感想やアンケート(実施対象学年6年生、実施人数36名)をとってみました。

・ 社会の（知）の部分が（たぶん）平均をこしていたので、うれしかった。それに、算・理・国・社のほとんどが平均以上だったので、良かった。

・ 僕は、テスト結果を見て、社会や理科がちよつと悪かったたのでそれをがんばらうと思った。国語はけっこうよかったけど、算数で悪かった所もあるので、そこもがんばりたい。後期は前期よりいい成績をとりたい。

・ 私は、結果をもう少しがんばらなうといけなうと思った。算数では分数が苦手ですつとほつていて点数もわるかつたので、もつとがんばりたい。とまどき結果がほしい！

・ 僕は、社会はだめかと思つたけど、（関）は、けっこうあつたからうれしかったです。逆に算数の（関）は、平均よりも低かつたからうれしかったです。後期もあるから、後期はがんばりたいです。

・ 中間個人懇談で見せてもらったのとほとんど結果が一緒でした。特に、理科の（関）という所が、平均以下だったので、後期は、そこを特にやつていきたいなうと思います。ほかにも少し苦手なところも勉強していきたいです。  
・ テスト結果を見て思つたことは、平均より悪くなかつたことです。自信はなかつたのですが、案外よくてよかつた

です。でも理科と社会が平均ぐらいたつたので、これからそれをがんばりたいです。予想よりもよかつたし、国語と算数は平均よりよかつたのでよかつたです。これからも今もつている自分の力を知り、前よりもいい結果にしたいです。

このように平均と比べたり、自分のこれまでの学習を振り返つたりする感想が多くありました。また、これからがんばりたいと意欲をみせるものもあります。

平均を示すということには、「子どもが意欲をなくすのではないか。」と抵抗がある方もいらつしやるでしょうが、私自身は逆に、より單元テストに対する見方が深まり、自省を促しやすくなるように思います。大切なのは多くの情報を与える中で、より良い選択をさせていくことだと考えています。

実際この個別学習成績表を配ることを、子どもたちはどう感じているのか、質問紙形式で答えてもらいました。

### 1 個別学習成績表を今後も続けてほしいですか。

- ①ぜひ続けてほしい (69%)
- ②どちらかと言えば続けてほしい (25%)
- ③どちらとも言えない (6%)
- ④どちらかと言えばやめてほしい (0%)
- ⑤やめてほしい (0%)

### 2 個別学習成績表は学習の参考になりましたか。

- ①すごく参考になった (33%)
- ②どちらかと言えば参考になった (42%)
- ③どちらとも言えない (25%)
- ④どちらかと言えば参考にならなかつた (0%)
- ⑤参考にならなかつた (0%)

### 3 個別学習成績表をもらつて学習のやる気が起きましたか。

- ①すごく起きた (19%)
- ②少し起きた (56%)
- ③どちらとも言えない (22%)
- ④少しやる気がなくなつた (0%)
- ⑤やる気がなくなつた (3%)

アンケートの結果、個別学習成績表を続けてほしいという願ひがあること、そのことによつて「やる気」も喚起されていることがわかります。この「やる気」こそが、学習に対して「ジャンプ」していく原動力です。

また、具体的に個別学習成績表の良い点、悪い点について聞いてみると、次のような感想が返つてきました。意図したわけではありませんが、悪い点については、全くありませんでした。良い点については次のようです。

- ・ クラスの平均が分かり、自分がどの点が弱いのが良くわかった。
- ・ コメントが細かく書いてあり、学習の参考になった。
- ・ 悪かった教科をがんばろうと思った。
- ・ 自分の悪かったところ、とてもがんばったところがわかった。
- ・ もう少しがんばろうと思えた。
- ・ やる気が大きくなって、最近はまだ少しがんばろうかと思いはじめた。

**個別懇談で利用しよう「マルつけちゃん」**

この個別学習記録表はリーダーチャートになっいて、平均値を入れたり、4教科以外の体育、音楽、図工、家庭科や総合的な学習の所見まで入れたりすることができます。その他の設定も細かくできるのが特徴です。また必要に応じて項目を付け加えたり削除できたりするので、自分に合った資料として配布することも可能です。

そのような成績表があれば、保護者にとっても分かりやすく、自分自身、我が子の成績について、通知票だけでなく、「マルつけちゃん」の個別学習記録表のようなもので示されれば是非見てみたいと思います。教師にとっても懇談の観点が絞りやすく、具体的な指摘をしながら話することができます。私は、個別懇談時に個別学習記録表（入力済

みの内容）を配布してその内容にふれながら話をすすめ、保護者からは好評をいただいております。

**おわりに**

私たちの生活は、校務分掌や生徒指導と日々忙しいものになっています。そんな中で、一番手を抜かれやすいのが、日々の教室での実践ではないでしょうか。本当はあってはならないことですが、小さな積み上げは派手には見えません。しかし、自分のやったことは必ず大きな力となって返ってきます。そのつもりで、今日も日記に目を通し、子どもたちの悩みを聞き、一生懸命取り組んだドリルやテストに目を通しております。

今回紹介した個別学習記録表などは、機械的な部分もありますが、指導の一助となるものです。子どもたちの声やアンケート結果を見れば、一目瞭然です。これからも大いに活用したいと思えます。